

製品名: CD292 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab08326

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	BMPR1A BMPR1A; ACVRLK3; ALK3; Bone morphogenetic protein receptor type-1A; BMP type-1A
別名	receptor; BMPR-1A; Activin receptor-like kinase 3; ALK-3; Serine/threonine-protein kinase receptor R5; SKR5; CD292
遺伝子 ID	657.0
SwissProt ID	P36894
免疫原	抗血清は、ヒト BMPR1A の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

骨形成タンパク質 (BMP) 受容体は、膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼのファミリーであり、I型受容体 BMPR1A、BMPR1B、およびII型受容体 BMPR2が含まれます。これらの受容体は、アクチビン受容体 ACVR1 および ACVR2とも密接に関連しています。これらの受容体のリガンドは、TGF- β スーパーファミリーのメンバーです。TGF- β およびアクチビンは、2つの異なるタイプのセリン (スレオニン) キナーゼ受容体 (約 50~55 kD のタイプI受容体と約 70~80 kD のタイプII受容体) とのヘテロ多量体複合体の形成を介してシグナルを伝達します。タイプII受容体は、タイプI受容体が存在しない場合でもリガンドに結合しますが、シグナル伝達には対応するタイプI受容体が必要です。一方、タイプI受容体は、リガンド結合に対応するタイプII受容体が必要です。 [RefSeq 提供、2008年7月],触媒活性: ATP + [受容体タンパク質] = ADP + [受容体タンパク質] リン酸補因子: マグネシウムまたはマンガン,疾患: 染色体 10q23 における BMPR1A および PTEN に関わる微小欠失は、染色体 10q23 欠失症候群[MIM:612242]の原因である。この症候群は、バンナヤン・ゾナナ症候群、コーデン病、および若年性ポリポーシス症候群の3つの疾患の特徴が重複する。10q23 微小欠失は、認知障害を伴わない乳児期若年性ポリポーシスの患者にも認められる。乳児若年性ポリポーシスは、生後数か月以内に広範な消化管若年性過誤腫性ポリポーシス that 出現するのが特徴です。 ,疾患: BMPR1A の欠陥は、カウデン病 (CD) [MIM:158350]の原因です。CD は常染色体優性癌症候群であり、多発性過誤腫と、乳癌、甲状腺癌、子宮内膜癌の高リスクを特徴とします。 ,疾患: BMPR1A の欠陥は、若年性ポリポーシス症候群 (JPS) [MIM:174900]の原因です。若年性腸ポリポーシス (JIP) としても知られています。JPS は常染色体優性消化管過誤腫性ポリポーシス症候群であり、患者は消化管癌を発症するリスクがあります。病変の特徴としては、滑らかな組織学的外観、優位な間質、嚢胞性腔、および平滑筋コアの欠如が挙げられます。多発性若年性ポリポーシスは、通常、メンデル遺伝病の多くで発生します。若年性ポリポーシスは、JPS のように関連する特徴を伴わずに発生することがあります。JPS では、ポリポーシスは大腸に発生する傾向があり、結腸がんやその他の消化管がんのリスク増加と関連しています。 ,疾患:BMPR1A の欠陥が、遺伝性混合ポリポーシス症候群 2 (HMPS2) [MIM:610069] の原因です。遺伝性混合ポリポーシス症候群 (HMPS) は、非定型若年性ポリポーシス、結腸腺腫、および結腸直腸がんを特徴とします。 ,機能:リガンド結合時に、2つのII型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成します。II型受容体はI型受容体をリン酸化・活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD 転写調節因子に結合して活性化する。BMP-2 および BMP-4 の受容体。 ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。TGF β 受容体サブファミリー。 ,類似性: GS ドメインを1つ含む。 ,類似性: タンパク質キナーゼドメインを1つ含む。 ,組織特異性: 骨格筋で高発現する。 ,

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;TGF- β ;

画像データ

CD292 ポリクローナル抗体を用いた SKOV3 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。

